

ファンが多い中、真っ先に連絡くださるとは、(^_^)v

「自閉症の息子と共に ①～③」の著者の明石洋子さんが、一泊2日で来仙された。

宮城県内の障害者団体と川崎市の障害者団体との震災時の障害者への対応についての情報交換会で来仙とか。

2日目の午前で会合は終わるので、午後帰る前に「会いたい」と連絡あり、明石さんの希望もあり津波被害甚大の閑上、若林区荒浜を案内した。

明石さんとの出会いは、9年ほど前（HP「雑学 BN」の随想等関係（Ⅱ）、2004.7.21.「ある母親とのHPでの出会い」：参照）で、その後も何度か直接お会いしたり、明石さんの書かれた文書や講演のスライド原稿等々を添付送信くださり、ずいぶん学ばせていただいた（今回も荷物になったと思うのに、ざわわざ数々の資料を持参して来てくれた）。

それらを一人締めにするのはもったいなく、ご本人の承諾をいただき、HP「雑学 BN」に「明石洋子さんコーナー」を設けて全てリンク・掲載・紹介させていただいている。

この間の交流から HP「雑学」に数々の関連記事を掲載したが、それらも「明石洋子さんバージョン」として一覧に纏め、HP「雑学 BN」の「明石洋子さんコーナー（Ⅱ）」にリンク・掲載している。

こうした交流があるとはいえ、宮城県内にも明石さんファンが自分の知るだけでも多いのに、来仙の機会があるとこんな自分に、「会いたい」といつも真っ先に連絡くださるのは、ありがたい限り、(^_^)v

夕方、帰りの新幹線までの時間、私だけが会うのはもったいなくて明石さんファンのみなさんに声をかけようと思ったが人数が多くなりそうなので、今回はお互いの顔が見えてお話できればと思い、発達障害児の親御さん等数人を交え、食事しながら懇談の場を設けさせていただいた（他の明石さんファンのみなさんには申し訳ない、m(_ _)m）。

いつものように明石さんのパワフルなお話に、みなさん圧倒されたよう。

明石さんは、会う人に不思議と頑張ろうという気持ちを授けるから、明石さんの存在自体が既にパワフルということか。

明石さんの足下に、少しでも近づきたいものである。

追伸：当記事を目にしてくれた明石さんから、「いい記念になります。感謝！」と、早速メールをいただいた。こちらこそ、感謝！